

まちづくりの目標	6	活力ある産業のまち
政策	1	産業を支え、活力のあるまちにします
施策	2	農業に親しめるまちにします
		担当部(統括部)
		生活環境部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
福祉農園や医療農園など多様な市民農園ができ、子どもから高齢者まで幅広い層の人たちが農業に親しんでいます。						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	市民農園の面積が拡大されている	市民農園の面積が拡大されている	多くの市民が市民農園の存在を理解している	多くの市民が市民農園の存在を理解している	多種多様な農園が開設されている	子どもから高齢者までの幅広い層の人たちが農業に親しんでいる
実績	目標の通りの姿を実現できた					
地域特産物である鳥飼なすの生産が拡大し、市の伝統野菜として多くの人に知られています。						
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	鳥飼なすの保存と生産拡大に取り組んでいる	鳥飼なすの保存と生産拡大に取り組んでいる	多くの市民が鳥飼なすの存在を知っている	多くの市民が鳥飼なすの存在を知っている	鳥飼なすの生産と消費が拡大されている	鳥飼なすの生産が拡大し、多くの人に知られている
実績	目標の姿の実現まで至っていない					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
市民農園の面積	目標	—	—	—	—	8,000㎡	8,500㎡	9,000㎡	9,500㎡	10,000㎡	13,000㎡
	実績	5,831㎡	5,831㎡	7,216㎡	8,052㎡	9,498㎡					
鳥飼なすの耕作面積	目標	—	—	—	—	1,800㎡	1,900㎡	1,900㎡	2,000㎡	2,000㎡	2,500㎡
	実績	929㎡	929㎡	1,129㎡	1,844㎡	1,844㎡					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎市民農園の拡大		平成25年度事業費計				
		270千円				
市民農園の拡大により農地の保全を図ります。また、農園利用者に作付け指導を行うとともに、指導できる人材を育成します。						
平成25年度事業	市民農園設置事業270千円(産業振興課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理	市民農園の適正管理
取組実績	千里丘市民農園を新たに開設した。					
成果	千里丘市民農園において、新たに3団体の利用が始まった。					
次年度課題	千里丘市民農園の貸与をすすめるとともに、未貸与地の管理を行う。					
計画	農園利用者との情報共有	農園利用者との情報共有と住民ニーズの把握	農園利用者との情報共有と作付けに関する情報交換	農園利用者との情報共有と作付けに関する情報交換	農園利用者からの指導者育成	農園利用者からの指導者育成
取組実績	積極的に市民農園に赴き、情報共有に努めた。					
成果	利用者から農産物品評会への出品者が平成22年度の21人から49人に増加した。					
次年度課題	農産物コンテストなど農業関連イベントへの積極的参加を促す。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握	市内農地の把握
取組実績	農業委員会等と連携して、休耕地の把握を行った。					
成果	市内65筆の休耕地を把握することができた。					
次年度課題	新しい市民農園開設ニーズに応えるため、引き続き市内農地の状況把握に努める。					
計画			多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	多様な農園形態の研究	誰もが親しめる多様な農園の拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

◎鳥飼なすの保存奨励	平成25年度事業費計 1,084千円
地域特産物である鳥飼なすの保存と生産拡大に努め、イベントにおける苗の販売や植付け指導、学校や高齢者施設などへの食材提供を行い、周知・振興を図ります。	

平成25年度事業	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
鳥飼なす保存奨励事業1,084千円(産業振興課)						
計画	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及	鳥飼なすの種の保存とその普及
取組実績	農業振興会に委託し、鳥飼なすの種の保存、普及を行った。					
成果	農業振興会が鳥飼なすを栽培し、苗、生なす、漬物を販売した。					
次年度課題	より近代的な農法を取り入れ、より効率の良い鳥飼なすの収穫を研究する。					
計画			鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	鳥飼なすの生産拡大と周知の方法の研究	研究に関する評価	鳥飼なすの生産拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画			都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	都市型農業と鳥飼なすの保存に関する研究	研究に関する評価	都市型農業と鳥飼なすの保存の両立
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大	市民農園での苗配布などによる伝承と育成者の拡大
取組実績	市民農園利用者に鳥飼なすの苗、約300株を配布した。					
成果	鳥飼なすを市民農園で栽培してもらうことで、育成者拡大を図ることができた。					
次年度課題	引き続き鳥飼なすの育成者拡大を図る。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	小学校等での鳥飼なすの植付け指導と給食食材提供による食育	小学校等での鳥飼なすの植付け指導と給食食材提供による食育	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大	食育の継続と消費の拡大
取組実績	市立小学校、幼稚園、保育所で鳥飼なすの苗の植え付け指導を実施。また、給食への食材提供を行った。					
成果	植付け指導した小学校のうち5校から農産物品評会への出品があった。農業祭には、植付け栽培の様子を記録した全校の掲示物が掲出された。					
次年度課題	引き続き小学校等と連携し、植付け指導等による食育を継続する。					
計画			保存用作り付け農地の確保と拡大	保存用作り付け農地の確保と拡大	保存用作り付け農地の確保と拡大	保存用作り付け農地の確保と拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

○農業振興活動の支援 平成25年度事業費計
1,873千円

将来、本市農業を担う農業者や農業に関係する団体が、地域の農業の振興を図るために行う活動やイベント開催に対し支援します。

平成25年度事業 農業祭事業1,350千円・農業団体育成事業523千円（産業振興課）

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催	農業祭の開催
取組実績	11月12・13日に第32回農業祭を開催した。					
成果	地元の野菜や協賛市の特産品等の販売、農産物コンテスト等を実施し、2日間で平成22年度を2,000人上回る12,000人が来場した。					
次年度課題	引き続き多くの市民に来場してもらえる農業祭を企画し開催する。					
計画	植木即売会の開催	植木即売会の開催	植木即売会の開催	植木即売会の開催	植木即売会の開催	植木即売会の開催
取組実績	4月7日から17日で植木市即売会を開催した。					
成果	植木や花・野菜・鳥飼なすの苗、園芸用品等の販売を行い、市民農園利用者や市内農業者らを中心に来場があった。					
次年度課題	植木即売会の開催場所の検討を行う必要がある。					
計画	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催	農産物品評会の開催
取組実績	7月6日に農産物品評会を開催した。					
成果	86人から432点の出品があった。					
次年度課題	品評会の開催場所の検討を行う必要がある。					
計画		新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新しい形の農業者の育成と時代に応じたイベントのあり方の研究	新たな農業者と協働するイベントの開催	新たな農業者と協働するイベントの開催
取組実績						
成果						
次年度課題						

○農地の保全						平成25年度事業費計
						11,571千円
遊休農地の発生を防ぎ、農地の持つ緑地・農空間を緑化や災害時の一時的な避難場所として活用します。						
平成25年度事業 農業委員会運営事業6,854千円・花とみどりの景観事業3,323千円・農業地域力創造推進事業1,394千円(産業振興課)						
			第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	遊休農地パトロールの実施	遊休農地パトロールの実施	遊休農地パトロールの実施	市内全農地パトロールの実施	市内全農地の把握	市内全農地の把握
取組実績	8月24日、25日に農業委員会による農地パトロールを実施した。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	地域担当農業委員による地域の農地の状況把握が必要である。					
計画	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止	緑化推進による農地の遊休化の防止
取組実績	休耕農地所有者への事情聴取等を実施した。また、花とみどりの景観事業を活用し、緑化推進を図った。					
成果	遊休農地の発生を防止することができた。					
次年度課題	高齢化等による担い手不足への対応が必要である。					

○農業体験の推進						平成25年度事業費計
						875千円
学校の学習農園としての稲作実習や鳥飼なす栽培などの農業体験を通し、食育を行います。また、関係機関と連携し、民間施設や福祉施設などの農業体験を支援します。						
平成25年度事業 米消費拡大推進事業875千円(産業振興課)						
			第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施	市内全小学校での稲作体験実習の実施
取組実績	市内10小学校全校で5年生813人を対象とした農業体験学習を実施した。					
成果	体験学習をとおして、田植えや稲刈り作業の大変さを体感してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田を確保し、引き続き実施する。					
計画	各校での米収穫祭実施による食育	各校での米収穫祭実施による食育	他市事例等、食育についての研究	他市事例等、食育についての研究	食育の充実	食育の充実
取組実績	各校で自分たちが植付け刈り取りを行った米を使って、カレーパーティーなどが実施された。					
成果	自分たちで育てたお米のおいしさを体験してもらうことができた。					
次年度課題	協力水田を確保し、引き続き実施する。					

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施	小学校、幼稚園、保育所での鳥飼なす植付け・栽培体験の実施
取組実績	市立小学校、幼稚園、保育所で鳥飼なすの植付け、栽培体験を実施した。					
成果	小学3年生については全員に植付け体験をしてもらうことができた。体験を通して自然の大切さや農作業の大変さを学んでもらうことができた。					
次年度課題	小学校等と連携して、引き続き実施する。					
計画			農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	農業体験ニーズの把握	植付け・栽培体験の対象者の拡大
取組実績						
成果						
次年度課題						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

団体への市民農園の貸出し		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
より多くの市民に自然とのふれあいや土に親しむことを楽しんでもらうため、市が市内の農地を借り上げ、市民農園として老人クラブ・自治会などの団体に貸し出します。							
平成25年度事業	市民農園設置事業270千円(産業振興課)						
計画	農園利用者との情報共有	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大	農園利用者との情報共有及びニーズの把握と、より多くの市民団体が利用できるよう農地の確保及び拡大
取組実績	積極的に市民農園に赴き、情報共有に努めた。						
成果	農園利用者から農産物品評会への出品者が22年度の21人から49人に増加した。						
次年度課題	農産物コンテストなど農業関連イベントへの積極的参加を促す。						

鳥飼なすの保存奨励		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
大阪府の「なにわの伝統野菜」に選ばれており、市の特産物として保存と生産拡大に取り組みます。							
平成25年度事業	鳥飼なす保存奨励事業1,084千円(産業振興課)						
計画	鳥飼なすの種の保存とその奨励	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大	鳥飼なすの知名度の向上と、さらなる生産の拡大
取組実績	農業振興会に委託し、鳥飼なすの種の保存、普及を行った。						
成果	農業振興会が鳥飼なすを栽培し、苗、生なす、漬物を販売した。						
次年度課題	より近代的な農法を取り入れ、より効率の良い鳥飼なすの収穫を研究する。						